

ふくおかの経済

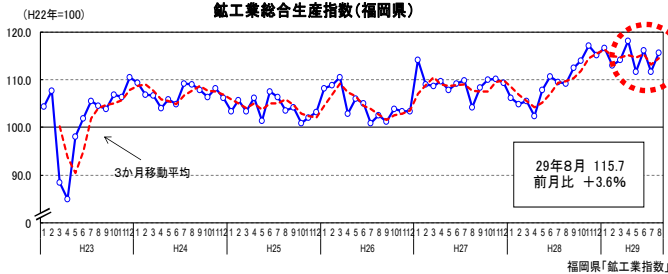
平成29年10月号



生産

高水準で推移している

8月の生産指数は、はん用・生産用機械工業などが上昇し、前月比で2か月ぶりに上昇しました。引き続き、高水準で推移しています。

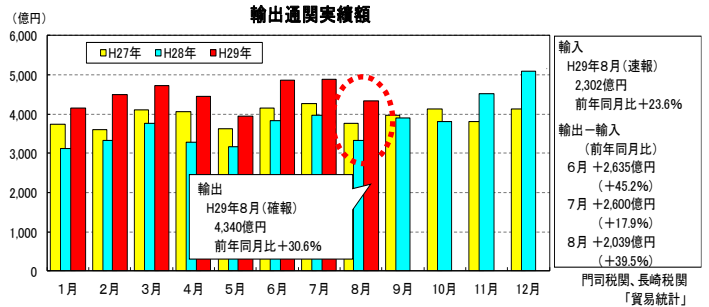


鉱工業生産指数は、平成22年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は増加、輸入は回復

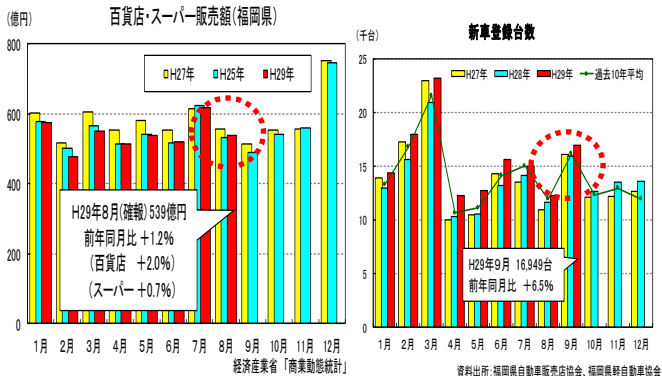
8月の輸出は、米国向けの自動車などが増加したことから、10か月連続で前年を上回りました。輸入も、10か月連続で前年を上回りました。



消費

着実に回復している

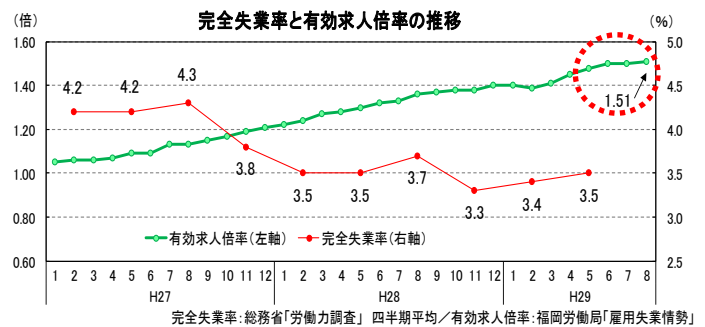
8月の百貨店・スーパー販売額は、化粧品や宝飾品等に加えて飲食料品も伸び、2か月ぶりに前年を上回りました。新車登録台数も前年を上回っています。



雇用

着実に改善が進んでいる

8月の有効求人倍率は1.51倍で、昭和38年の統計開始以来、過去最高を更新しました。

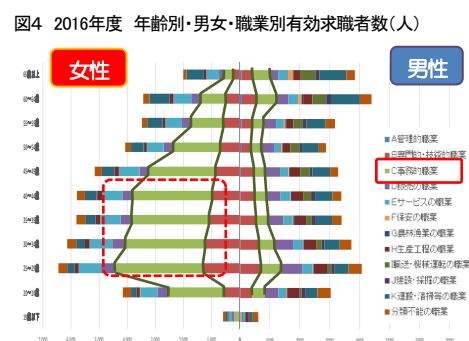
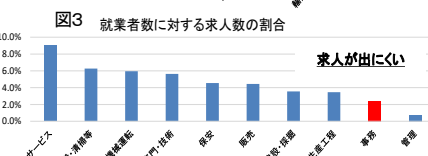
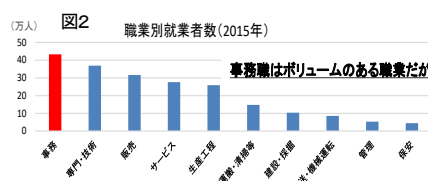
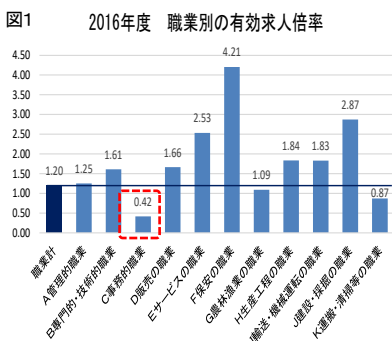


「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1より大きいと、人手不足を表します。

今月のトピック 人手不足といわれるなか、とても多い女性の「事務職」就職希望

- 右上図のように、福岡県の有効求人倍率は過去最高水準で推移していますが、職業別にみると大きな差が生じており、「事務的職業」の倍率の低さが目立っています(図表1)。
- この「事務的職業」は、就業者数のボリュームは大きいものの、求人が出にくいといった特徴がみられます(図表2、3)。
- さらに就職希望者を年齢別・男女別にみると、特に25歳から49歳までの女性が多いことがわかります(図表4)。

職業間での求人と求職のミスマッチが起こっているのじゃないかな。
内訳をみることで、全体ではみえなかったいろんな特徴がわかるんじゃないよ!



(資料) 総務省「国勢調査」、厚生労働省「職業安定業務統計」
(トピック担当: 分析1班 佐藤)